

第52回公益社団法人日本口腔インプラント学会 学術大会参加報告

日時：令和4年9月24日(土)、25日(日)、
場所：名古屋国際会議場



熱田 互(東京都)



令和4年9月23日～25日、金土日の3日間、名古屋国際会議場において、表題の学術大会が開催されました。久々の対面開催となりましたが、当会からも多くの発表講演がありました。

第52回 日本口腔インプラント学会記念学術大会 日本インプラント臨床研究会 発表者一覧

9月24日(土)

・シンポジウム 1

「上顎インプラントオーバーデンチャーを成功に導くための条件とは?」

座長：田中 譲治

9月25日(日)

・モーニングセミナー 6

「安全なインプラント治療の再考～ヒヤリハットと注意すべき解剖学的ポイント～」

座長：田中 譲治、岩野 義弘

講師：水口 稔、熱田 互

・専門歯科技工士教育講座

座長：木村 健二

一般講演

9月24日(土)

「ラテラルウィンドウテクニックとクレストルアプローチを併用した上顎洞底挙上術の工夫」 洪性文

「上顎前歯部における抜歯即時埋入とインプラントリカバリーによって審美性の改善を行った一症例」 和田 恭昌

9月24日(土)15:20～16:00

「上顎洞を避けてインプラント傾斜埋入を行った1症例」 佐藤 文明

「埋伏上顎犬歯を抜歯し、前歯部にインプラント治療を行った1症例」 津川 順一

ポスター発表6

「インプラント上部構造を考慮した両側サイナスリフトを用いた上顎欠損症例」 松浦 宏彰

「口腔内の環境変化を想定し、インプラント埋入位置を考慮した1症例」 小島 史雄

「CAD/CAM 技術による PEKKフレーム一体型ブリッジにて上顎多数歯欠損を補綴した症例」 福西 雅史

9月25日(日)

「動的ガイドを活用した口腔インプラント治療の工夫」 田中 洋一

「上顎前歯部インプラントにおいて、エマージェンスプロファイルを調整しスキャロプラインを整え、審美性を獲得した一症例」 渡部 正義

「上顎前歯部にインプラント治療を行い8年経過した症例」 石井 弘之

「リッジプリザベーションの有用性」 島田 惇平

(順不同・敬称略)



残念ながら学会懇親会は開催されませんでした。23日金曜に専門医教育講座の後、恒例となる当会の懇親会が開催され、大変盛り上がった3日間でした。

ご存知の方も多いかと思いますが、イブニングセミナーおよびモーニングセミナーとして各認定研修施設が講演を行います。

応募による応募制で、どちらになるかは抽選となります。

当会はなぜかモーニングセミナーにあたることが多く、今回もモーニングセミナーにて採択されました。

今回のテーマは各研修施設における研修成果等の発表と言うことで、当会サイエンス委員会で上梓し会員へ配布しました書籍「インプラントの“ヒヤリ・ハット”“あるある”これを知らずして治療するべからず！」(クインテッセンス出版、2021年)をベースに、「安全なインプラント治療の再考～ヒヤリハットと注意すべき解剖学的ポイント～」として、座長は、田中 譲治会長、岩野 義弘先生(サイエンス委員会委員長)につとめていただき、水口 稔之先生と一緒に講演をさせていただきました。

ただし、3日目日曜の朝8時から、しかも会場の一番はずれにあるこの講演のみ使用する会場で人が流れてくることも期待できない状況で、一体どれだけの人が聞きに来ていただけるのか…(自分の講演レベルもさることながら)大変心配でした。

田中会長から「この講演のために用意された特別会場だからね!多分大丈夫でしょう(笑)」と言う励ましをいただきましたが…

蓋を開けてみれば、会場は立ち見が出るほどの大盛況となりました。

何より嬉しかったのが、当会から多くの会員が応援に駆けつけていただいたことです。

水口先生の集客力の凄さもさることながら、あらためて当会の団結力と学会において注目を浴びる存在であるのだと感じました。

このような貴重な機会をいただきご指導賜った田中会長、笹谷専務、岩野副専務、水口先生、そして応援に駆けつけていただいた皆様に心から感謝申し上げます。

